

## 第35回東海外来小児科学研究会のご案内

謹啓 時下、先生方におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。  
さて、この度下記の要領にて第34回東海外来小児科学研究会を開催します。春の研究会は講演、秋はワークショップとなっておりますので、今回は3つのワークショップを企画しました。それぞれ異なったジャンルですが日常診療で役に立つ内容と思われまます。医療関係者であれば参加の制限はありませんので、多数のご参加をお待ちしております。

敬白

### 【開催要綱】

日時：平成30年11月25日（日）

会場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち

〒450-0002

愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

TEL：052-571-6131

FAX：052-571-6132

<http://www.winc-aichi.jp/>



### 【WSのテーマ】 13時30分～16時30分 （13時開場）

- WS1 インターネットを利用した外来診療における感染症の発生調査と花粉情報の外来診療への活用
- WS2 クリニックでLINE@を使いこなそう
- WS3 クリニックの看護師だからできる家庭看護力の土台作り  
～みんなで考えよう！やってみよう！～

※ いずれのWSもアンケートから参加申し込みができます。

### 【同時開催】 9時～16時 （参加費用別途）

第4回貧困と子どもの健康研究会

メイン企画：講演と討論：スウェーデンから学ぶ

1. 当日WS参加費として、医師の方は3000円、医師以外の方は1000円受付で申し受けますのでご了承ください。  
なお、同日開催の貧困の研究会にご参加の方は別途費用がかかります。
2. 総合討論はありません。
3. 小児科専門医制度の認定単位はありません。
4. 同日開催の貧困問題研究会の開催概要は別紙案内をご覧ください。

東海外来小児科学研究会世話人

愛知県	日高啓量	近藤康人	佐野洋史	嶋 康子	千原 克
	川井 進	松川武平	鈴木研史		
岐阜県（担当県）	矢嶋茂裕（代表）	浅井俊行	木全かおり	蜂谷明子	
三重県	落合 仁	梅本正和	西村美鈴	近藤 久	上荷裕広

主催 東海外来小児科学研究会

## WS1 インターネットを利用した外来診療における感染症の発生調査と花粉情報の外来診療への活用

リーダー 落合 仁 (三重県)

サブリーダー 西藤なるを (滋賀県)

インフルエンザ(flu)の診断状況をいち早く周知する事を目的として、2000年にインターネット上にfluの報告サイト「ML インフルエンザ流行前線情報データベース(ML-flu)」を開設し、本プロジェクトを現在も続けております。日本全国の報告数の推移のみならず、A/Bタイプや治療薬などの質的な情報も迅速集計がなされWeb表示されます。また都道府県単位の報告数や地域の広がりなども集計しており、さらには報告して下さる医療機関毎の集計結果も「MyData」にログインして頂くとWeb表示されております。

WSでは、ML-fluを地域のfluの流行状況を連絡し合うツール、そして個々の医療機関の診療に役立つ「MyData」など”ML-fluを使いこなす”意見交換をしたいと思っております。その他、RSVやhMPVの流行調査も行っており、迅速診断を元にした感染症情報のインターネット上の報告についての意義について、ご説明したいと考えております。

◎ 当WSも、アンケートにご協力ください。参加申し込みもアンケートからできます。



当WSの参加に関わらずWebアンケートを実施します。東海外来小児科研究会に参加される方は回答にご協力をお願い致します。ただし、当WSに参加される方は、事前に必ず回答をお願い致します。スマートフォンから左記のQRコードを読み取るか、PCから以下のURLをアクセスして下さい。

<http://www.children.or.jp/index.php?20181125ws1>

## 三重県におけるスギ花粉情報の実用と課題

リーダー 近藤康人 (愛知県)

サブリーダー 湯田厚司 ゆたクリニック(三重県津市)

スギ花粉症には抗原回避が重要で、花粉情報は貴重な情報源である。全国の花粉情報を容易に得られるが、地域の特性を把握しない無責任な情報も多い。我々は三重県下5カ所のスギ花粉定点観測を毎日行い、過去データと気象を基にWeb([www.mie-kafun.com/](http://www.mie-kafun.com/))で花粉情報を2~4月に毎日更新する。個人ユーザーだけでなく、医療機関や報道に利用され、地域密着型情報を目指している。花粉情報の実用と課題を報告する。

問い合わせ先

落合小児科 落合仁  
電話 0595-82-0121

## WS2 クリニックで LINE@を使いこなそう

リーダー 矢嶋茂裕(矢嶋小児科小児循環器クリニック、岐阜県)  
サブリーダー 日高啓量(ひだかこどもクリニック、愛知県)  
成島仁人(津ファミリークリニック、三重県)

SNS はもはや日常不可欠な情報源となり、クリニックの情報発信手段としてはホームページだけでは十分な時代になりつつあります。その中でも特にLINEは普及度が高く、ビジネスとして利用するLINE@は重要な発信ツールとなります。

こうした状況の中で LINE@を積極的に導入し使いこなしている日比さん、会津さんからプレゼンしていただく他、導入したものの使いこなせていない話、これから導入するにはどうしたらいいのか、といった、入門編から上級編までを一気に紹介し、情報交換する場としたいと思います。

今回は Dr だけでは使いこなせない可能性もありますので、クリニックのスタッフにもご参加いただけるようにします。

### 参加条件

1 施設 2 名まで(医師1, スタッフ1など) WS には 1 名参加、1 名はオブザーバー  
LINE のアカウントを持っている方  
企業版 LINE (LINE@) の導入に関しては不問  
プレゼンター、世話人の HP, LINE@などを事前に閲覧、登録できる方  
すでに LINE@を導入している方は QR コードを提供してください

### プレゼンター

矢嶋茂裕(矢嶋小児科小児循環器クリニック)  
日比将人(オーシャンキッズクリニック)  
会津研二(アイキッズクリニック)

### WS2. アンケート



WS 参加の有無を問わず web 上でアンケートを実施します。

ただし、WS 参加希望施設においては必ずアンケートサイトから事前に申し込んでください。(回答困難な場合は PC からスマホなど環境を変えてチャレンジしてみてください)

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSffNdvtERSFOHw\\_aSSmeg4yAlUe3PyABaW0Iq7lahlJNFjOZQ/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSffNdvtERSFOHw_aSSmeg4yAlUe3PyABaW0Iq7lahlJNFjOZQ/viewform)

### 問い合わせ先

矢嶋小児科小児循環器クリニック 矢嶋茂裕 [yyy@ip.mirai.ne.jp](mailto:yyy@ip.mirai.ne.jp)

電話 058-240-5666 FAX 058-240-5130

## WS.3:クリニックの看護師だからできる家庭看護力の土台作り

～みんなで考えよう！やってみよう！～

リーダー：知ろう小児医療 守ろう子ども達の会 中部支部代表 野村さちい

サブリーダー：竜美ヶ丘小児科 鈴木 研史、サブリーダー：すずらん調剤薬局 上荷裕広

クリニックは一次医療機関として救急医療の土台を担っている。生後間もない頃から何度も通うクリニックの中で、保護者が少しずつ病気の子どもと家庭で過ごすための知識、急な発症での受診の目安などを身につけていける事が求められている。そして安心して家庭で過ごせる、今のまま子ども達が育っていくため、クリニックで行える看護は多様化している。皆様の施設での取り組みや情報を共有し、自施設で活かせるような学びのできるワークショップにしたいと思います。クリニックでの看護に興味のある方大歓迎です。

### 【予定している内容】

- ・ クリニックで行っているホームケア指導の実際と問題点の情報共有（そうは言ってもなかなかできない現実や、行ってみての実際の反省点から・・・）
- ・ 事例で考えよう！この親子に必要なホームケア指導とは・・・、
- ・ やってみよう、家庭看護力向上に向けた活動（実際にやってみたときの反応や反省点、今後の方向性など）

### 参加者アンケート

参加される看護師の方々の施設のご活躍を教えていただきたいと思いアンケートのご協力をお願いいたします。自施設で行っていること、困っていることなどを情報共有させていただきながらワークショップを開催したいと思います。ぜひ具体的に記述していただけたらありがたいです。



左の QR コードから回答ができます。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeSqYGY1dZExkAzD5wOfE1FC20UG01OWCgeLdtpU0\\_nJDAmg/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeSqYGY1dZExkAzD5wOfE1FC20UG01OWCgeLdtpU0_nJDAmg/viewform)

所在地 愛知県、三重県、岐阜県、その他

施設名

氏名

WS3の参加 参加予定、不参加、未定

Q1、自施設での診察後のホームケア指導(看護師)について当てはまるものに○をつけて下さい。

行っている・行っていない・今後行う予定である・行う予定はない・

行う事ができない(理由:

)

Q2、Q1 以外で貴院で看護師による保護者への家庭看護力向上に向けた取り組みがあったら具体的に教えて下さい。

(

)

Q3、Q2 で行っている中での問題点や今後の課題がありましたらご記入ください。

(

)

Q4、貴院の看護師の院外での活動があれば具体的に教えて下さい。

(

)

Q5、アンケートの結果は、会を進行するための有効な情報として考えています。内容をさらに詳しくお聞きしたい場合、こちらからメールで確認してもよければメールアドレスをご記入ください。

( @ )

アンケート回答は前ページの QR コードからお願いします。

竜美ヶ丘小児科 鈴木・野村

## 第4回貧困と子どもの健康研究会

平成30年11月25日(日)9:00~16:00

名古屋 ウィンクあいち小ホール(名古屋駅前)

参加費:医師 3000円、一般 500円、学生・支払い困難な方無料

\*午後から開催される東海外来小児科研究会参加医師は2000円(自己申告で可)

### メイン企画：講演と討論：スウェーデンから学ぶ（10~12時予定）

「A good start in life for every child—the efforts in Sweden」

アネリ・イヴァルソン(スウェーデン、ウメオ大学教授)

「日本の子どもの貧困の現状(仮題)」

山野良一(沖縄大学教授)

他、講演・一般演題を予定

共 催 : 貧困と子どもの健康研究会実行委員会  
日本外来小児科学会子どもの貧困問題検討会

お問い合わせ : 和田浩 〒395-8522 長野県飯田市鼎中平 1936 健和会病院小児科  
TEL:0265-23-3115 E-mail: [zan07102@nifty.com](mailto:zan07102@nifty.com)